



真岡市立中村小学校だより

みどり野

No. 2

令和2年6月30日

学校経営理念 「私たちは、子どもたちが自立し、協働して社会に貢献できる人間になるための基盤を育成します。」
学校教育目標 1 めあてをもって勉強する子 2 なかよくたすけあう子 3 じょうぶでがんばる子

非認知能力を家庭・地域・学校で育てる

長かった臨時休校が解除され、学校には子供たちの元気な笑い声が戻ってきました。2か月遅れの新年度のスタートです。コロナ対策や熱中症対策など、「新しい生活様式」を守りながらは難しい部分がありますが、学校、家庭、地域が知恵を出し合って、子供たちの安全を守っていきたいと思います。ご理解ご協力をお願いいたします。

一方、小学校では10年ぶりの学習指導要領の改訂により、子供たちの学びに新しい指針が示され、今年度から完全実施となります。その中で育てたい資質の中に、「やり抜く力」「失敗から立ち直る力」等があり、学校では、これらの力を生かして学びを深めます。このような力は、非認知能力（テストなど学力では測れない力）と呼ばれています。それは、こんなことです。嫌なことを我慢したり、元気にあいさつしたり、間違えたら謝ったり、小さい子に優しくしたり、ご近所さんと親しく会話をしたり……。そうです、各家庭や地域で当たり前に行っていることなのです。

しかし、自分をコントロールしたり、コミュニケーションを取ったりする力には個人差があります。家庭、地域、学校でできることを、繰り返し粘り強く、今はできなくてもいつかはできると願いながらの声かけや励ましが必要です。各家庭はもちろん、スクールガードさんや地域の方々には、子供たちのために、今後ともご指導のほどどうぞよろしくお願いいたします。



企画委員による毎朝の「笑顔のあいさつ運動」

浮いて待て ～「もしも」の時こそ冷静に～

5月下旬から6月上旬にかけて、水難事故が続き、全国で6名の児童が犠牲になりました。今年、コロナ禍の影響でプール開設が中止になり、子供たちに事故防止の授業ができず心配されます。

川や海は必ず大人の人と楽しみますが、それでも、岸から流されてしまったときはどうするか。水泳が得意な人でも着衣のままでは上手く泳げません。必ず近くの人が消防に連絡して助けてくれます。大切なのは、救助までの間、体力の消耗を抑え、沈水を防ぐことです。

ポイントは、①全身の力を抜き、あごを少し上げる。②手足は広げ、背中を反らす。③服や靴は脱がない、の3つです。(イラスト参照)

また、流されている人を見つけても近寄るのは危険です。ペットボトルやボールなど浮き輪になる物があれば、投げ渡して沈むのを防ぎます。溺れた人も見つけた人も、落ち着いて冷静になることが、大切な命を守ります。



学校始動

少しずつですが、日常が戻ってきました。その様子をお知らせします。

1年生2つの初めて

昼食は誰もが楽しみにしている時間の一つです。本来、1年生は約1週間の午前中登校の後、初めての給食となりますが、今回はいきなり初日から。そして、第3週火曜日は弁当の日と、楽しい初めての昼食時間を体験しました。



さあ、学習の遅れを取り戻すぞ！

約3か月、自宅での学習を余儀なくされました。復習から始まった学習ですが、学年の内容を順調に進めています。本年も基礎学力の定着を目指して「漢字力テスト」を行っていきます。第1回目は6月16日に行いました。開始時刻まで見直し学習を行う姿が高学年には多々見られました。また、6月18日には、4月に予定されていた「とちぎっ子学習状況調査(4・5年)」を行いました。学習サイクルも戻ってきています。



テスト直前まで頑張る6年生



3年生の様子



2年生の様子



1年生はひらがなに挑戦

学習状況調査に臨む4年生

同じく5年生

避難訓練



命を守ることは何よりも大切です。今回は「地震」を想定した訓練で、避難経路を確認しました。校長より「もどらない、おさない、かけない、しやべらない」の話を全員で見直しました。

夏季休業の変更

新型コロナウイルス感染防止のための臨時休業があったことから、今年の夏季休業は8月1日～16日となります。また、それ以外の7月21日～8月31日は通常通りの授業となります。見守り、お世話になります。